

国土強靱化の加速と地方創生回廊による分散型国づくり 及び観光の本格的な復興 提言

8月の東北・北陸地方での豪雨をはじめ、先月の台風第14号、15号では、宮崎県や静岡県などで記録的大雨となり、本年も、甚大な被害が全国各地で相次いだ。先の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に続き「5か年加速化対策」により、大きな効果が発現した箇所もある一方で、さらなる対策が必要な箇所も露呈した。予想を上回る速度で気候変動の影響が顕在化しており、激甚化・頻発化する自然災害から国民の命と暮らしを守り、社会の重要な機能を維持するためには国土強靱化の加速が必要である。

さらに、国・地方が総力を挙げて地方創生に取り組む中、コロナ禍も相まって地方への移住志向が高まるなど「大都市への集中」から「地方への分散」へと転換が進んでいる。活力ある地方創りと分散型国づくりを推進するためには、地方創生回廊の構築は必要不可欠である。

また、コロナ禍の影響が長期化する中、地域経済の一翼を担う観光産業の本格的な復興のためには、国内観光需要の創出や観光事業者等の事業継続への支援が引き続き必要である。一方で、インバウンドの入国制限の緩和や円安の進行は、海外誘客の本格的な回復に向けて好機となり得るものであり、地方における受入環境の整備を急ぐ必要がある。

以上を踏まえ、下記項目についての予算措置を強く提言する。

記

1 防災・減災、国土強靱化の加速

治水・土砂災害対策はもとより、切迫する大規模地震に備えた地震・津波対策、インフラ老朽化対策等を加速するため、物価が高騰する中でも「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に実施できるよう、必要な予算を例年以上の規模で早期に措置するとともに、円滑な事業執行を図るための弾力的な措置を講ずること。

2 地方創生回廊による分散型国づくり

高規格道路のミッシングリンク解消、暫定2車線区間の4車線化等を図るための財源確保、リニア中央新幹線や整備新幹線の整備促進、新幹線の基本計画路線から整備計画路線への格上げなど、地方創生回廊を早期に実現すること。

3 地域経済を支える観光の本格的な復興

インバウンドを含む観光需要がコロナ禍前の水準に回復するまでの間、全国旅行支援等の国内観光需要喚起策を継続実施するとともに、必要な財源を早期に確保すること。

また、世界の観光市場において日本が選ばれるよう、観光産業の高付加価値化を推進するとともに、地域の魅力を海外へ発信するプロモーション活動など訪日意欲の喚起策を積極的に実施すること。さらに、地方空港・海港における検疫体制等の整備と充実を迅速に行い、早期の国際線受入を可能とするなど、インバウンド需要を確実に取込むために必要な措置を講ずること。

令和4年10月11日

全国知事会 国土交通・観光常任委員会委員長
大分県知事 広瀬 勝貞